FGI FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

2024年9月期　第１四半期
決算説明資料

2024年2月

フィンテック　グローバル株式会社

（東証スタンダード市場：8789）

https://www.fgi.co.jp/

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標です。

目次

総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
連結業績概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
四半期連結業績推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
セグメント別業績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
投資銀行事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
公共コンサルティング事業・・・・・・・・・・・・・・・・11
エンタテインメント・サービス事業・・・・・・・・・・・12
連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
自己株式の取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
連結経営指標等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

Copyright© FinTech Global Incorporated

総括

投資銀行事業の成長が続き、売上高、利益が順調に増加。

ムーミンバレーパークは顧客単価上昇。無駄の削減により利益体質への転換を進める。

事業承継ソリューション業務受託の高成長が続く

・当社が事業承継問題を抱える企業の買い手となって課題を解決する事業承継ソリューション業務受託と付帯するプライベートエクイティ投資（PE投資）による案件組成が順調に進む。

・買収ファンドの事業承継案件への投資額は、当Q1で236億円。 前期の通期実績の176%まで進捗。

・買収ファンドにおける投資回収も進み、アセットマネジメントの成功報酬などが連結業績を牽引。

預り資産残高は、前期末比20%増加 1,341億円に

・海外機関投資家によるレジデンス向け投資のアセットマネジメントが増加。

航空機アセットマネジメント（航空機AM）は好調が続き、39.7%の増収

ムーミンバレーパークは顧客単価が上昇
無駄の削減を進めて、利益を出せる体質への転換が進む

・運営方式の変更によりパークの滞在時間が増加して、物販・飲食の顧客単価が上昇。

・エンタテインメント・サービス事業の原価率は、前Q1比で10.6ポイント改善して70.6%となる。今後も更なる無駄の削減を進める。

自己株式取得を決議〔総額1.5億円、250万株（発行済株式総数の1.24%）を上限〕

・成長投資のための資金余力を確保しつつ、機動的な自己株式取得を決定。

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結業績概況

（単位：百万円）

	2023年9月期 第１四半期	2024年9月期 第１四半期	増減額	増減率	通期業績予想 2023/11発表	業績予想 進捗率
売上高	2,716	3,434	+718	+26.5%	10,000	34.3%
売上総利益	1,597	2,102	+505	+31.6%	―	―
営業利益	720	976	+255	+35.5%	1,800	54.2%
経常利益	699	953	+254	+36.3%	1,600	59.6%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	503	589	+85	+17.0%	1,200	49.1%
償却前営業利益	836	1,095	+258	+31.0%		
EPS(円)	2.50	2.93	+0.43	―		
ROE（年換算）	29.5%	27.5%	△ 2.0 pt	―		

償却前営業利益:　営業利益+売上原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費
ROE（年換算）：　親会社株主に帰属する四半期純利益を４倍して算出

売上高

事業承継ソリューション業務受託による収益が増加。
航空機AMも伸びる。

売上総利益

粗利率が高い事業承継ソリューション業務受託の売上増加により、
売上総利益も増加。

営業利益

販管費は、人件費、支払手数料などの増加により前年同期比で28.4%増となるも、
売上総利益の増加により、営業損益以下の各段階利益は増益。

連結業績予想

第２四半期以降も事業承継案件の順調な進捗を見込むが、
今後の新規案件の獲得や投資回収の状況、メッツァの収益などを慎重に見極めるため、
業績予想値を変更せず。

Copyright© FinTech Global Incorporated

四半期連結業績推移

（単位：百万円）

	2023/9期					2024/9期	前Q1比 増減額 (増減率)
	Q１	Q２	Q３	Q４	Q４累計	Q１	
売上高	2,716	1,814	2,380	2,391	9,302	3,434	718 (26.5%)
売上総利益	1,597	783	1,457	1,272	5,111	2,102	505 (31.6%)
営業利益	720	△74	496	201	1,343	976	255 (35.5%)
経常利益	699	△71	456	192	1,277	953	254 (36.3%)
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	503	△25	304	821	1,603	589	85 (17.0%)
償却前営業利益	836	44	612	318	1,811	1,095	258 (31.0%)

・償却前営業利益＝営業利益+売上原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費

Copyright© FinTech Global Incorporated

セグメント別業績 - 1

・投資銀行事業は、事業承継ソリューション業務受託が順調に推移し、売上高は34.4%増の2,673百万円。
販管費は29.6%増の665百万円となるも、セグメント利益は27.7%増の1,191百万円。

・公共コンサルティング事業は、公共施設等総合管理計画の見直し支援などが増加し増収。黒字転換。

・エンタテインメント・サービス事業は、原価低減による利益体質への転換が進み、売上総利益が増加。

（単位：百万円）

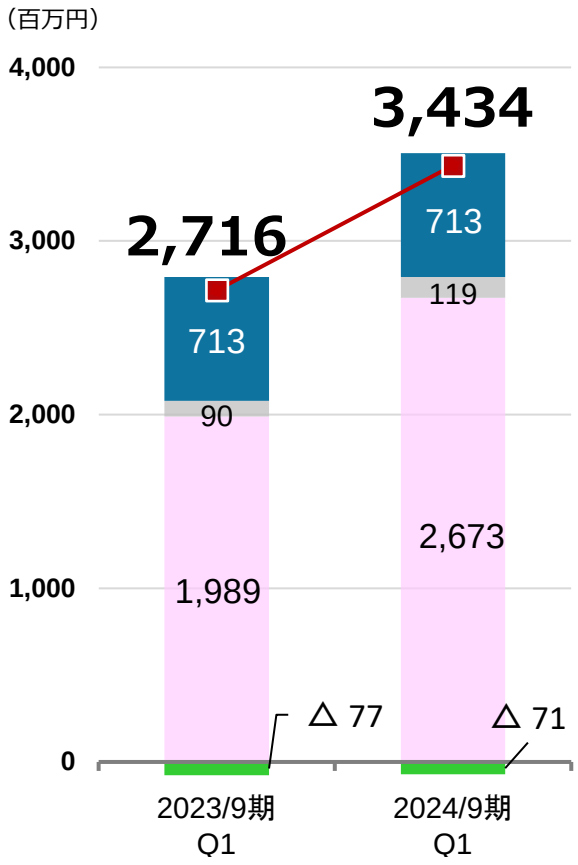
報告セグメント	科目	2023/9期					2024/9期	前Q1比
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q4累計	Q1	
投資銀行事業	売上高	1,989	1,295	1,796	1,837	6,919	✓ 2,673	✓ 684
	売上総利益	1,446	753	1,340	1,200	4,742	✓ 1,857	✓ 410
	セグメント利益	933	259	755	555	2,504	✓ 1,191	✓ 258
公共コンサルティング事業	売上高	90	92	65	119	367	✓ 119	✓ 28
	売上総利益	48	46	41	74	211	73	24
	セグメント利益	△7	△10	△24	7	△34	5	13
エンタテインメント・サービス事業	売上高	713	498	584	515	2,311	713	0
	売上総利益	134	13	110	46	305	✓ 210	✓ 75
	セグメント利益	△18	△140	△66	△139	△364	1	19
調整額（セグメント間取引消去又は全社費用）	売上高	△77	△71	△65	△81	△296	△71	5
	売上総利益	△32	△30	△35	△49	△147	△37	△5
	セグメント利益	△187	△183	△168	△223	△762	△222	△35
連結ＰＬ計上額	売上高	2,716	1,814	2,380	2,391	9,302	3,434	718
	売上総利益	1,597	783	1,457	1,272	5,111	2,102	505
	営業利益	720	△74	496	201	1,343	976	255
関連事項		新型コロナウイルス第8波 RBJを連結除外						

・各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高です。
・調整額（セグメント利益）（2024年9月期Q1は△222百万円）には、セグメント間取引消去（2024年9月期Q1は62百万円）及び報告セグメントに配分していない全社費用（2024年9月期Q1は△285百万円）を含む。全社費用は合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Copyright© FinTech Global Incorporated

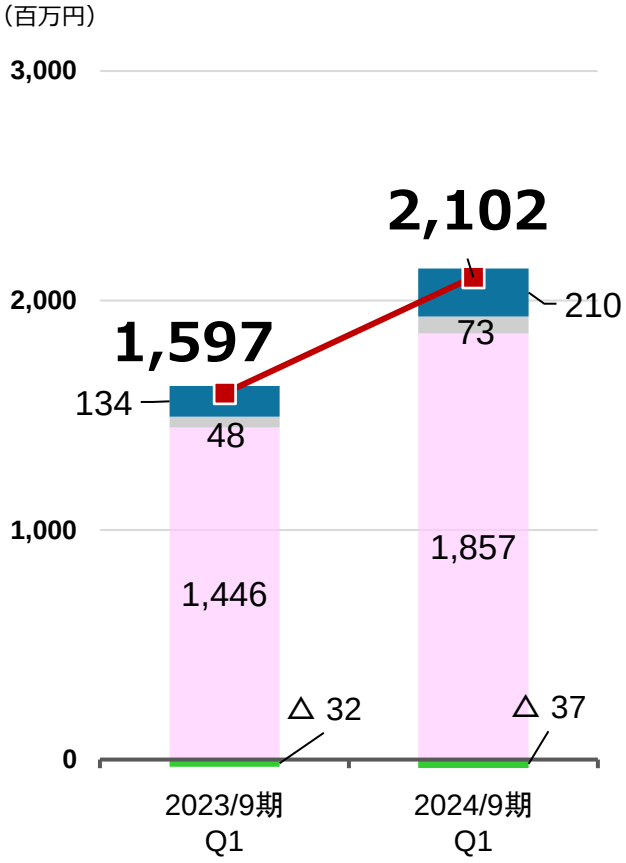
セグメント別業績 - 2

売上高



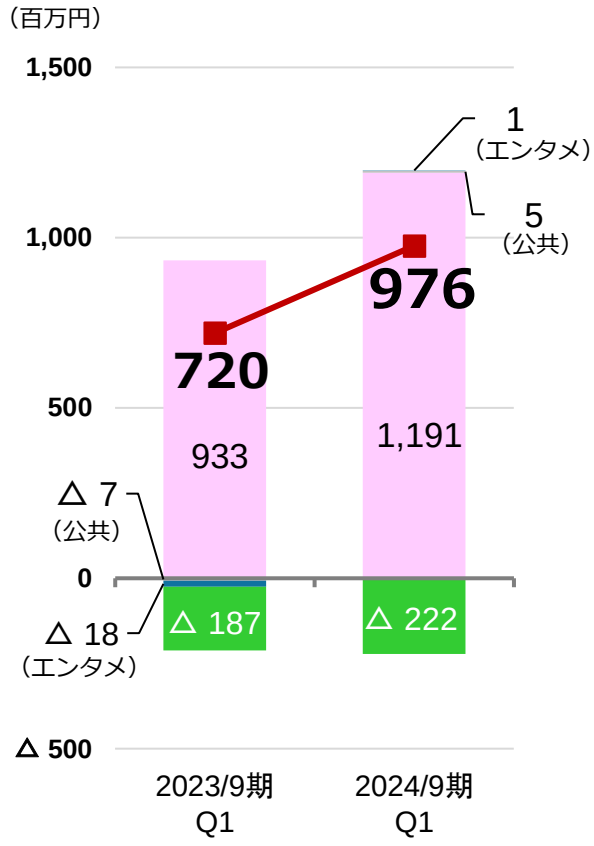
718百万円増（26.5%増）

売上総利益



505百万円増（31.6%増）

営業利益



255百万円増（35.5%増）

（注）セグメント別内訳は、他のセグメントとの取引を消去しない数値を使用。

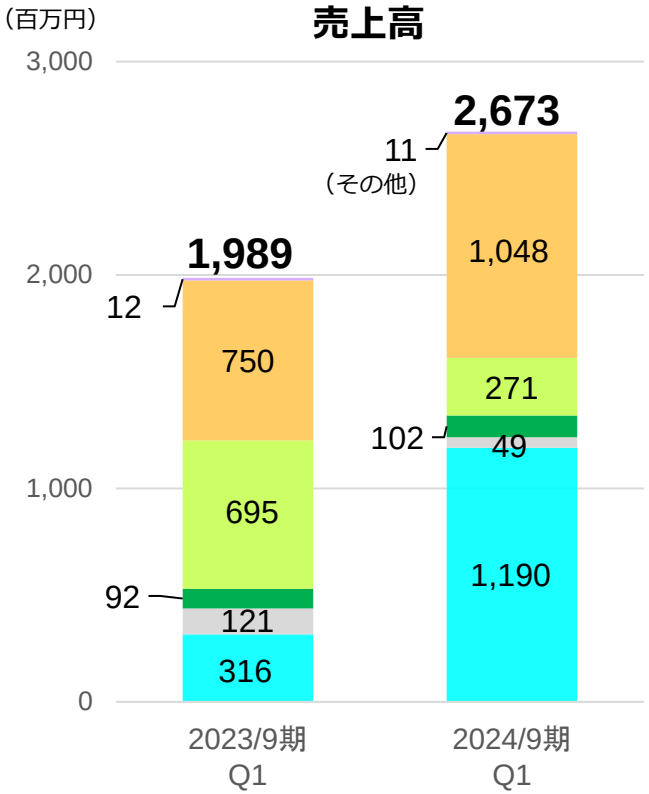
投資銀行事業　公共コンサルティング事業　エンタテインメント・サービス事業　全社費用または取引消去

Copyright© FinTech Global Incorporated

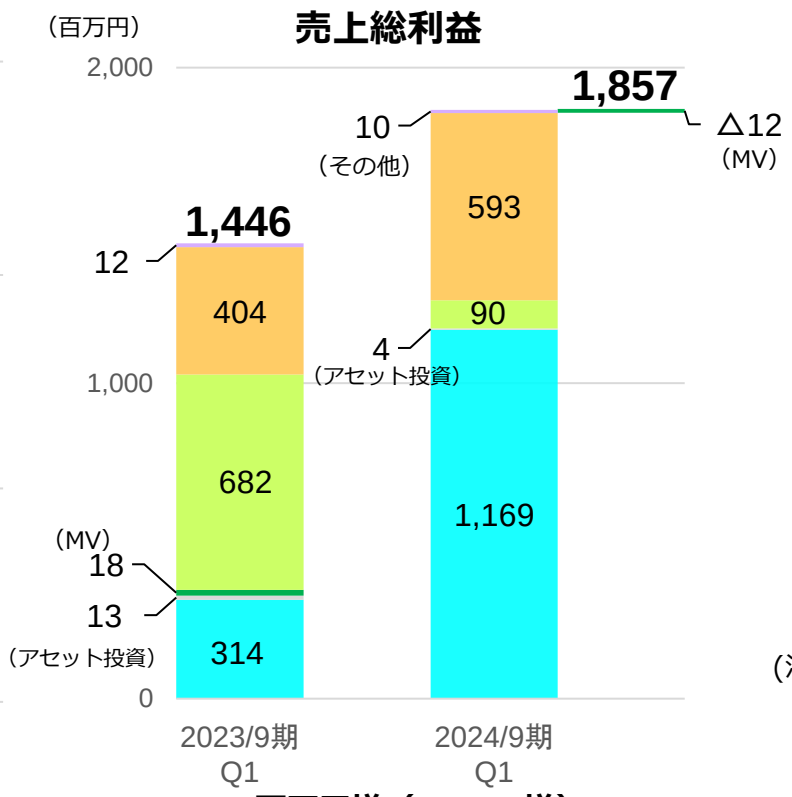
投資銀行事業ー業務別売上高、売上総利益

事業承継案件の組成が順調に推移
航空機AMの好調も続き、売上高34.4%増、売上総利益28.4%増

- **業務受託**　買収ファンドのアセットマネジメントによるアップフロント報酬や期中管理報酬、成功報酬等により増収。
- **PE投資**　投資回収は順調に進むが、当社の収益認識が第2四半期以降となる案件があり減収。
  売上総利益は、スタートアップ投資などで減損もあったことから減益。
- **航空機AM**　機体検査などの技術サービス、航空機登録サービスが増加。航空機リマーケティングでも成約もがあり、増収増益。



684百万円増（34.4%増）



410百万円増（28.4%増）

- その他
- 航空機アセットマネジメント
- プライベートエクイティ投資（PE投資）
- メッツァビレッジ（MV）
- アセット投資
- 業務受託（アレンジ、アセットマネジメント、不動産仲介等）

（注）セグメント間の内部売上高は、消去しない数値を使用。

Copyright© FinTech Global Incorporated

投融資残高

事業承継案件の投資実行、投資回収が共に増加。投融資残高は前期末比1.1%増に留まる。

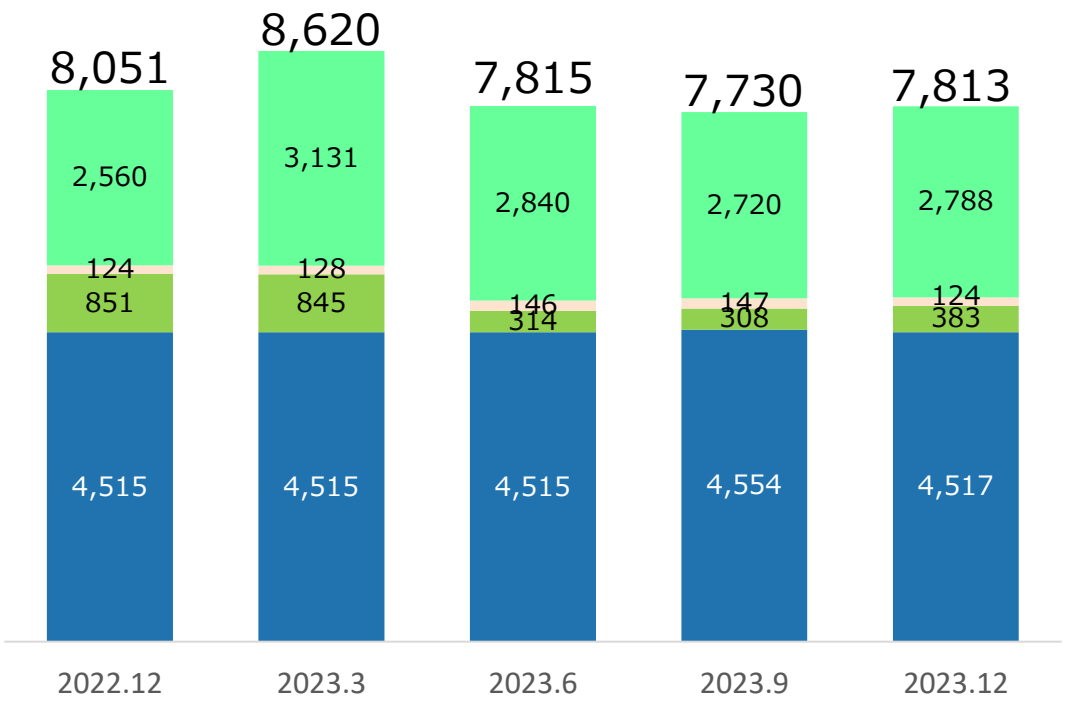
〔2024年9月期第1四半期の変動要因〕

・プリンシパルインベストメント・・・買収ファンドへの投資が増加したが、投資回収も進み、期末残高は微増に留まる。

＊ 買収ファンドの投融資残高は、当社がファンドに投資実行するか、ファンドが投資先企業の事業の損益を取り込む場合に増加。
ファンドが現金分配などをする場合に減少。

（百万円）

投融資残高（子会社への出資を含む）



プリンシパルインベストメント（事業承継案件を含む）
ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金の合計額。

ベンチャーキャピタルファンド
2ファンドへの投資

企業融資
営業貸付金、子会社への短期貸付金の合計額。全額引当している債権は含めないが、子会社貸付は全額計上。

不動産等(メッツァ）
メッツァにおける不動産。
メッツァビレッジの不動産は仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。ムーミンバレーパークの土地は、法的には地域SPCに譲渡しているが会計上は当社固定資産に計上しているため、当該金額に含めている。

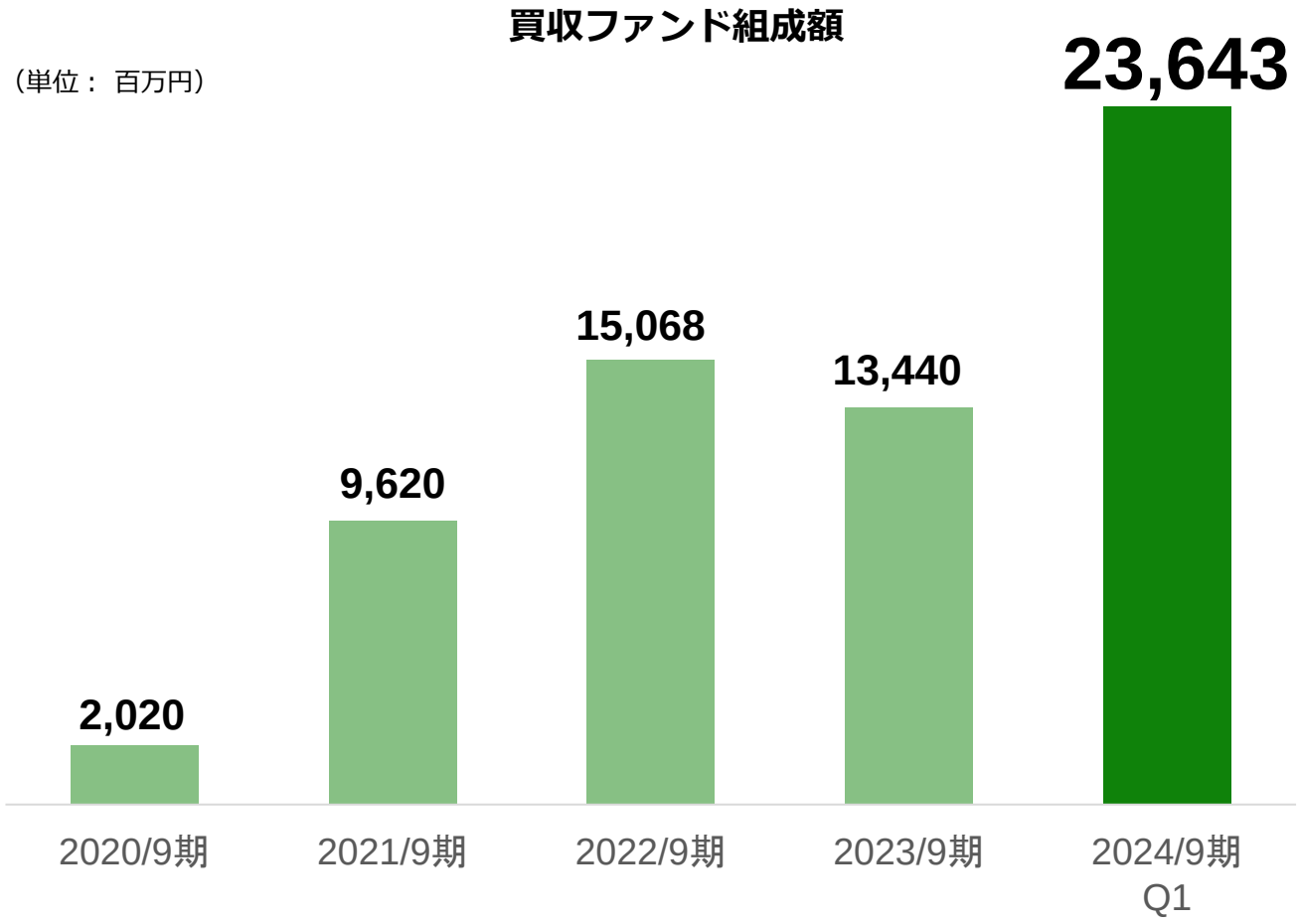
（注）1　投融資残高は当社、aviner㈱ の合計
2　FGI、aviner㈱間の出資・貸付は、含めず。

Copyright© FinTech Global Incorporated

買収ファンドの事業承継案件への投資額

当第１四半期の買収ファンド組成額（≒ 投資額）は236億円となり、
前期の通期実績の176%まで進捗。

ファンドでローンを調達する金融機関の開拓も進み、資金調達コストが低減。利益率向上に寄与。



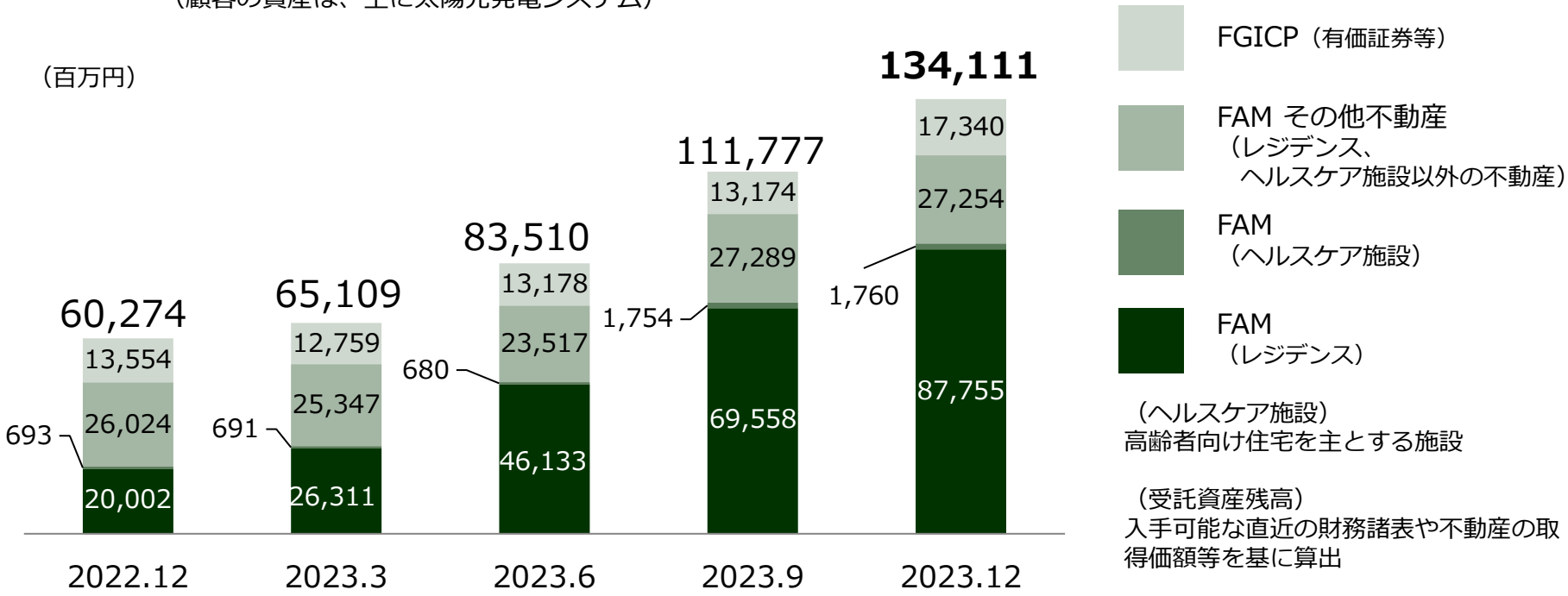
Copyright© FinTech Global Incorporated

預り資産残高

不動産投資運用の預り資産残高は、１千億円を超えて1,167億円に
グループ運用総額は、2023年9月末比20.0%増の1,341億円*

海外投資家によるレジデンス投資の残高が増加。

*FAMの投資運用・投資助言とFGICPの投資運用における契約資産の合計です。
上記とは別にFGICPの投資助言契約における顧客の資産額は1,083億円（23年9月末比16億円増）
（顧客の資産は、主に太陽光発電システム）



（ヘルスケア施設）
高齢者向け住宅を主とする施設

（受託資産残高）
入手可能な直近の財務諸表や不動産の取得価額等を基に算出

フィンテックアセットマネジメント㈱（FAM）
投資運用業、投資助言・代理業（関東財務局長（金商）第2014号）
総合不動産投資顧問業（総合―第７４号）
不動産特定共同事業（金融庁長官・国土交通大臣第５４号）

FGIキャピタル・パートナーズ㈱（FGICP）
投資運用業、投資助言・代理業
（関東財務局長（金商）第2175号）

Copyright© FinTech Global Incorporated

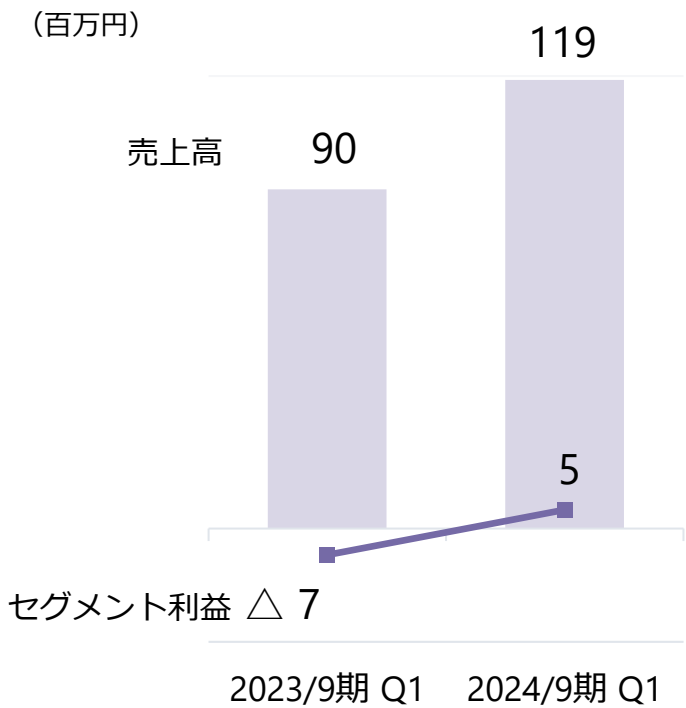
公共コンサルティング事業

㈱パブリック・マネジメント・コンサルティング（PMC）

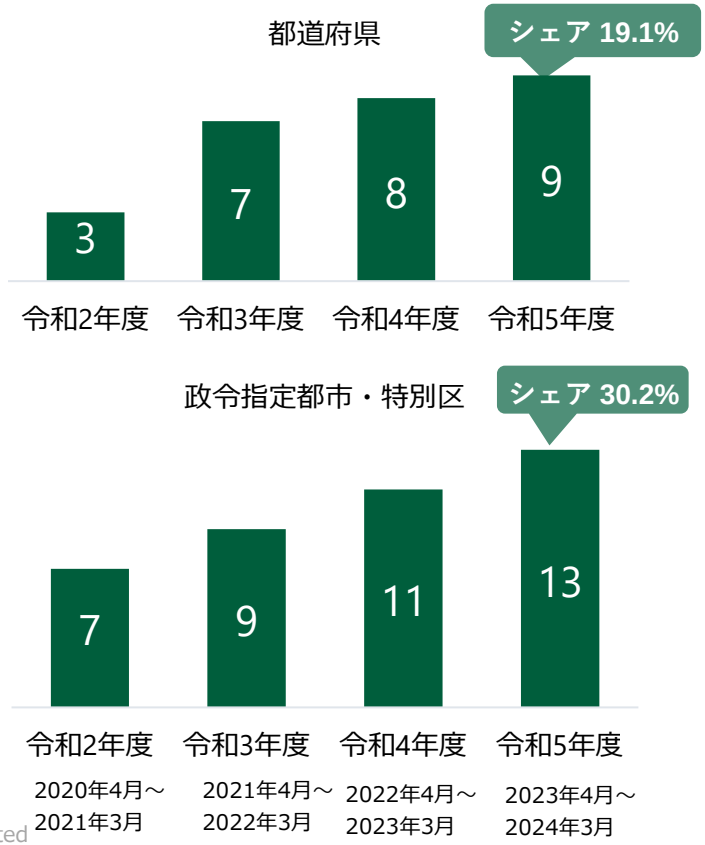
先進的取組みを行う大規模自治体などから公共施設等総合管理計画の見直し支援の引合いが増加。公共施設の有効活用コンサルティングや財務書類作成支援業務も増加し、黒字転換。

- 人口減少と財政逼迫を背景に、公共施設の老朽化に対応するマネジメントが求められる中、施設の長寿命化計画策定や有効活用に関するコンサルティングが増加。
- 財務書類作成支援業務において、大量の財務情報を有する大規模自治体から、財務書類作成に関する知見と情報技術・大量データ処理に専門性を有するPMCへの引き合いが継続。当第1四半期においては、政令指定都市からの受託が１団体増加。

セグメント情報



財務書類作成支援業務　受託団体数



Copyright© FinTech Global Incorporated

エンタテインメント・サービス事業

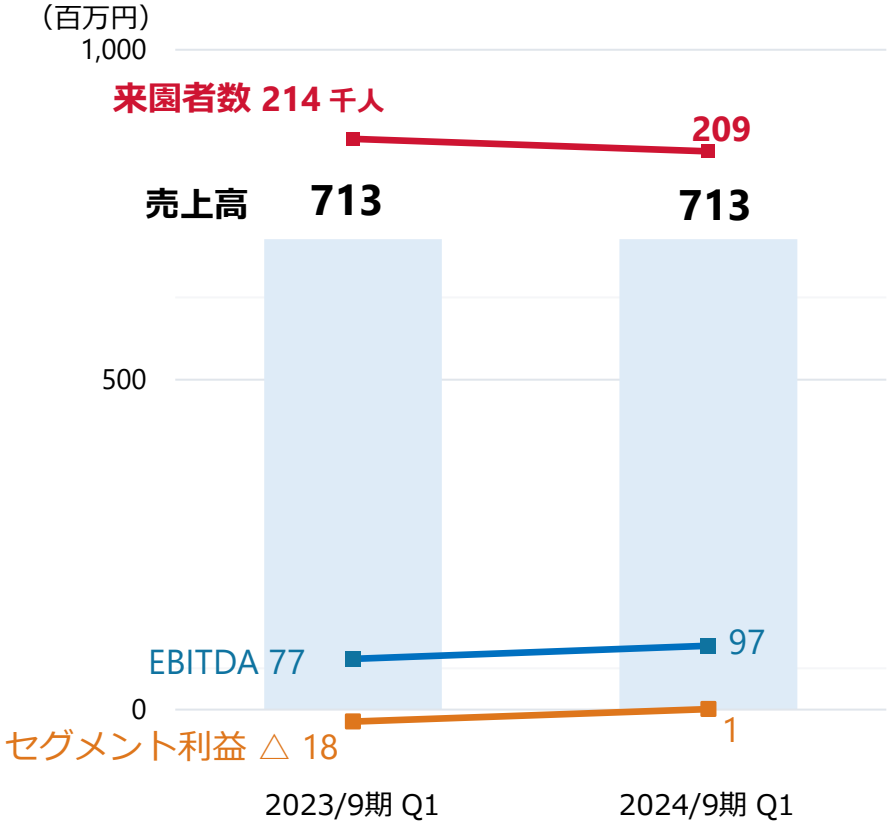
㈱ムーミン物語
㈱メッツァ

ムーミンバレーパークの顧客単価が上昇。
無駄の削減により、セグメント損益は改善。利益を出せる体質への転換が進む。

・「ウインターワンダーランド イン ムーミンバレーパーク2023」や、「ムーミン谷の冬花火」を開催。
前年は昼と夜で分けていたチケットを、昼から夜まで楽しめる運営方式に変更。

・メッツァ来園者数は前Q1比2.1%減となったが、運営方式変更によりパークの滞在時間が増加して、物販・飲食の顧客単価は上昇。
売上高は昨年と同水準の713百万円となる。

・業務委託や人材派遣などの見直しを進めた結果、当事業の原価率は前Q1比で10.6ポイント改善し70.6%。更なる無駄の削減を進める。



(注)1　来園者数は、メッツァビレッジとムーミンバレーパークの合計。

2　売上高は他の報告セグメントとの取引を消去しない数値を使用。

3　EBITDAは、セグメント利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

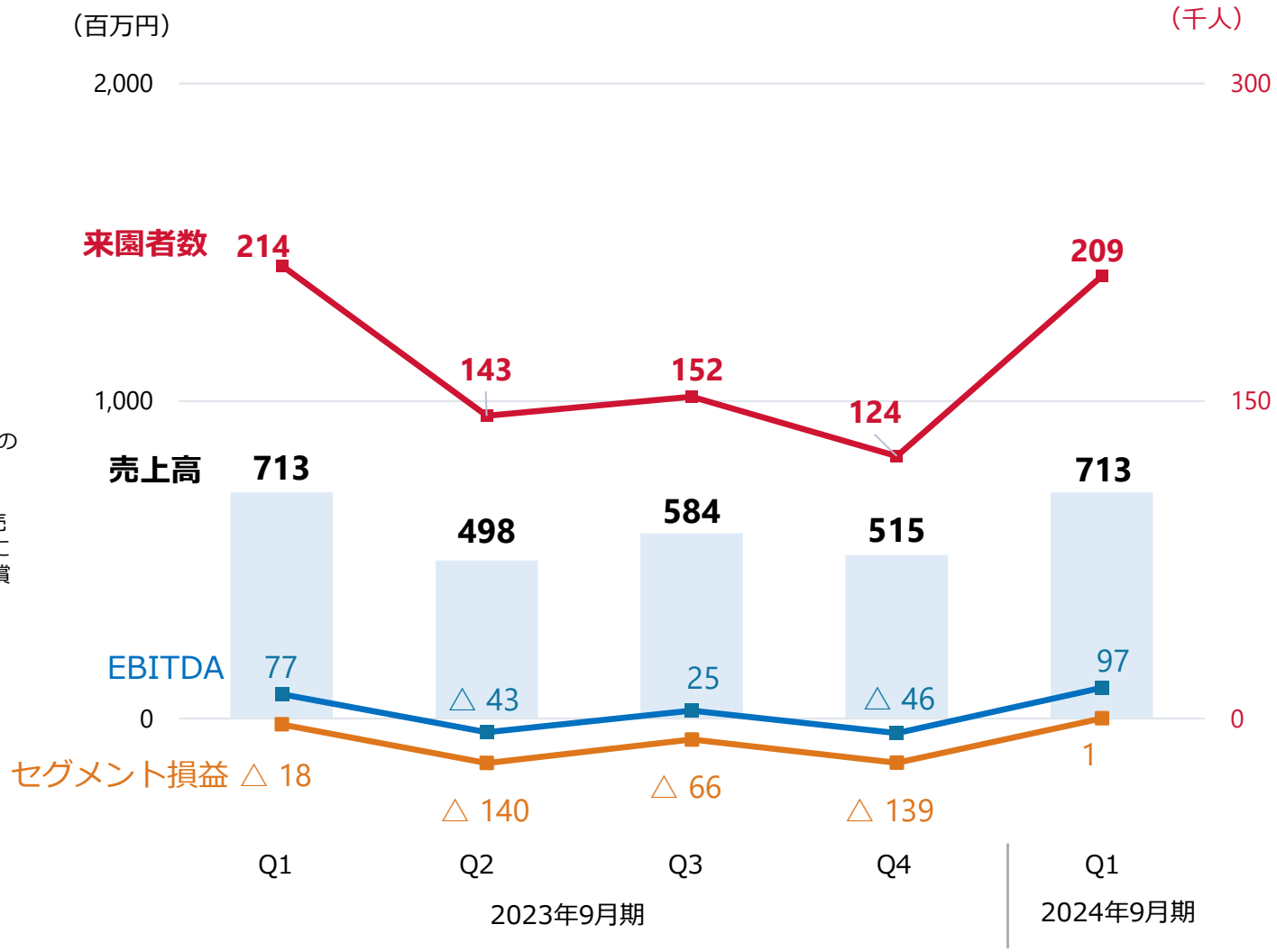
Copyright© FinTech Global Incorporated

エンタテインメント・サービス事業（四半期業績推移）

(注)1　来園者数は、メッツァビレッジ・ムーミンバレーパークの合計。

2　売上高は他の報告セグメントとの取引を消去しない数値を使用。

3　EBITDAは、セグメント利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。



Copyright© FinTech Global Incorporated

ムーミンバレーパークの取り組み

夜間のイベントが集客に貢献。 滞在時間が増加し、物販・飲食売上が増加。
開業5周年にあたり、集客力を高めるための設備投資を進める。

ウインターワンダーランド イン ムーミンバレーパーク 2023
（2023/11/2 ～ 2024/ 1 / 8 ）

WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK

ムーミン屋敷を彩る
プロジェクション・マッピング

ムーミン谷の冬花火

11月～1月初旬の週末などに開催。
豊かな色彩が夜空と湖面を華麗に染め上げた。

花火は、好評により２月以降も週末に開催。

©Moomin Characters ™

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結貸借対照表

（単位： 千円）

資産の部

		23年9月期	24年9月期 第1四半期	増減
	流動資産	12,477,247	13,357,169	879,922
1	現金及び預金	2,918,561	3,207,644	289,083
2	受取手形・売掛金・契約資産	1,355,231	1,624,600	269,369
3	営業投資有価証券	2,848,142	2,873,523	25,380
	営業貸付金	346,365	342,915	△ 3,450
	販売用不動産	4,095,967	4,106,745	10,777
	商品	160,768	156,944	△ 3,823
	その他	883,381	1,190,703	307,321
	貸倒引当金	△ 131,170	△ 145,906	△ 14,736
	固定資産	6,646,706	6,564,215	△ 82,491
4	有形固定資産	5,530,068	5,455,524	△ 74,543
	無形固定資産	131,260	122,393	△ 8,866
	投資その他の資産	985,377	986,296	919
	資産合計	19,123,953	19,921,384	797,431

負債の部

		23年9月期	24年9月期 第1四半期	増減
	流動負債	7,880,663	8,212,345	331,682
5	支払手形・買掛金	308,710	533,485	224,775
	短期借入金	77,954	143,500	65,546
	1年内返済予定の長期借入金	6,082,038	6,051,616	△ 30,422
	未払法人税等	125,884	171,902	46,017
	リース債務	149,086	88,444	△ 60,642
	賞与引当金	257,626	235,964	△ 21,661
	その他	879,363	987,431	108,068
	固定負債	1,849,970	1,776,501	△ 73,469
6	長期借入金	1,290,817	1,217,480	△ 73,337
	リース債務	50,723	43,592	△ 7,130
	繰延税金負債	97,175	97,727	551
	退職給付に係る負債	126,297	132,745	6,447
	その他	284,955	284,955	―
	負債合計	9,730,633	9,988,846	258,212

純資産の部

株主資本	8,141,924	8,732,619	590,694
資本金	5,372,574	5,373,336	761
資本剰余金	974,443	975,205	761
利益剰余金	1,794,907	2,384,078	589,170
自己株式	△ 0	△ 0	―
その他の包括利益累計額	150,683	113,879	△ 36,804
新株予約権	77,299	77,593	294
非支配株主持分	1,023,412	1,008,445	△ 14,966
純資産合計	9,393,319	9,932,538	539,218
負債純資産合計	19,123,953	19,921,384	797,431

1 買収ファンドへの投資で一時的に減少するも、分配金により増加。

2 事業承継ソリューション業務や航空機アセットマネジメント、公共コンサルティング事業による売掛金が増加。

3 買収ファンドへの新規投資が増えたが、投資回収も増加。不動産小口化商品としての信託受益権販売による減少もあり、残高は微増に留まる。

4 ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却により減少。

5 主に航空機アセットマネジメントにおける外部委託により増加。

6 主に不動産小口化商品を組成した子会社SPCの借入返済により減少。

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結損益計算書

（単位： 千円）

	2023年9月期 第1四半期	売上比	2024年9月期 第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高 1	2,716,112	100.0%	3,434,905	100.0%	718,793	26.5%
売上原価 2	1,118,382	41.2%	1,332,007	38.8%	213,625	19.1%
売上総利益	1,597,730	58.8%	2,102,897	61.2%	505,167	31.6%
販売費及び一般管理費 3	877,310	32.3%	1,126,658	32.8%	249,347	28.4%
営業利益	720,419	26.5%	976,239	28.4%	255,820	35.5%
営業外収益	12,986	0.5%	4 24,925	0.7%	11,939	91.9%
営業外費用	33,545	1.2%	47,285	1.4%	13,740	41.0%
経常利益	699,860	25.8%	953,879	27.8%	254,019	36.3%
特別利益	369	0.0%	511	0.0%	142	38.5%
特別損失	15,673	0.6%	ー	0.0%	△ 15,673	△ 100.0%
税金等調整前四半期純利益	684,556	25.2%	954,391	27.8%	269,834	39.4%
法人税等合計	103,338	3.8%	219,779	6.4%	116,441	112.7%
四半期純利益	581,217	21.4%	734,611	21.4%	153,393	26.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益	77,793	2.9%	145,440	4.2%	67,647	87.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	503,424	18.5%	589,170	17.2%	85,746	17.0%

1 主に事業承継ソリューション業務受託、航空機AMの売上高が増加。

2 メッツァ関連の原価は減少したものの、SGIの売上増加に伴う外部委託費の増加や、スタートアップ企業などへの投資の減損があり、売上原価が増加。

3 当社及びフィンテックアセットマネジメント㈱において、人事評価・報酬制度を改訂。ベース給与・各種手当も2024年12月分から見直す。
他のグループ会社も人員増強などを進めた結果、人件費が増加。
事業拡大に伴い、支払手数料等も増加し、販管費は前年同期比28.4%増加。

4 為替差益16百万円を計上。

Copyright© FinTech Global Incorporated

自己株式の取得

事業承継案件への投資の回収が進み、今後の成長投資のための資金余力を確保する中で、株主の皆様への利益還元とROEなどの資本効率の向上を図るとともに、経営環境に応じた機動的な資本政策（M＆Aでの活用を含む）の遂行や経営幹部向けインセンティブプランへの活用などを目的として自己株式を取得するものであります。

取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	2,500,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.24%）
株式の取得価額の総額	150,000,000円（上限）
取得期間	2024年２月19日～2024年９月30日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結経営指標等の推移

		2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年9月期 第1四半期
売上高	（百万円）	9,175	6,841	8,107	9,301	9,302	3,434
売上総利益	（百万円）	2,944	2,313	3,370	3,990	5,111	2,102
営業利益又は営業損失(△)	（百万円）	△ 1,664	△ 992	178	587	1,343	976
経常利益又は経常損失(△)	（百万円）	△ 1,850	△ 1,135	115	540	1,277	953
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	（百万円）	△ 1,586	△ 1,186	130	176	1,603	589
純資産	（百万円）	8,873	7,304	7,439	7,842	9,393	9,932
総資産	（百万円）	19,025	16,583	16,457	17,933	19,123	19,921
１株当たり純資産	（円）	37.03	31.12	31.47	32.72	41.19	43.94
１株当たり当期純利益又は １株当たり当期純損失(△)	（円）	△ 8.08	△ 5.90	0.65	0.88	7.97	2.93
潜在株式調整後 １株当たり当期純利益	（円）	–	–	0.65	0.87	7.94	2.92
自己資本比率	（%）	39.1	37.7	38.5	36.7	43.4	44.4
自己資本利益率	（%）	△ 21.5	△ 17.3	2.1	2.7	21.6	–
株価収益率	（倍）	–	–	86.1	44.6	7.7	–
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 2,604	680	747	△ 701	615	–
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 4,543	△ 282	△ 173	△ 141	766	–
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	5,710	△ 767	△ 360	802	△ 538	–
現金及び現金同等物の期末残高	（百万円）	2,513	2,142	2,379	2,375	2,868	–
従業員数(連結） (外、平均臨時雇用者数）	（人）	167(262)	156(224)	149(209)	176(144)	153(169)	156(193)
従業員数（単体） （外、平均臨時雇用者数）	（人）	39(5)	28(6)	28(4)	30(4)	26(6)	37(8)

Copyright© FinTech Global Incorporated

フィンテック　グローバル株式会社　会社概要

本店所在地	東京都品川区上大崎3－1－1　目黒セントラルスクエア15階
設立	1994年12月7日
代表	代表取締役社長　玉井　信光
上場日	2005年6月8日
証券コード	8789 (東京証券取引所 スタンダード市場)
事業年度	10月1日から9月30日まで
事業内容	①投資銀行業務　②投資業務 ③投資運用業務　④地域課題ソリューション
発行済株式総数	201,321,700株　(2023年12月31日現在)
単元株式数	100株
資本金	5,373百万円　(2023年12月31日現在)
連結純資産	9,932百万円　(2023年12月31日現在)
連結従業員数	156名　(2023年12月31日現在、臨時従業員含まず)

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。

Copyright© FinTech Global Incorporated

免責事項

本資料は、当社およびFGIグループの2024年9月期第１四半期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性がありますが、その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

Copyright© FinTech Global Incorporated